

平成28年度 阿賀野市国語部 活動報告

部長 吉井 友佳

1 研究主題

「教えることと考えさせること」

2 研究の概要

4月20日（水）第1回国語部会 組織の編成・役割の決定、事業計画の作成

6月28日（火）第2回国語部会 講演会

講演テーマ「子どもが主体的に学ぶ読み取りの授業構成について」

講師 藤村 郁也 様（阿賀野市教育センター教育指導主事）

11月22日（火）第3回国語部会

・グループ研修「読むこと」に関する単元の教材研究

・来年度の組織編成

3 研究の実際

（1）第2回国語部会（講演会） 9名参加

阿賀野市教育センター教育指導主事の藤村郁也様より「子どもが主体的に学ぶ読み取り授業構成について」と題して、説明的文章と文学的文章の特性による指導方法の違いという根底の部分から、授業実践における手法まで様々な角度からご講演いただいた。



<講演の概要>

- 説明文、物語文それぞれで、どんな力を付けるためにどんな活動をさせるのか、ねらいを明確にして学びを展開していくことが大切である。
- 子どもたちが取り組みたいと思う課題や場の設定が不可欠である。
- 物語文では、子どもたちが作品を読み味わったり、自発的に読み返したりして、その後の読書経験が豊かにできるような学習活動を展開していくことが大切である。

（2）第3回国語部会（グループ研修） 9名参加

低学年「たぬきの糸車」、中学年「プラタナスの木」、高学年「海のいのち」と物語文教材を選定し、学年部ごとのグループで単元構成のアイデアを出し合う教材研究研修を行った。

グループごとに、単元を通しためあてのもとたせ方や読み取る力を付けるための教材へのアプローチの仕方、学習活動の内容について話し合われた。また、登場人物・中心人物・山場（クライマックス）・主題など、押さえないといけないポイントを焦点化して展開を考えていくことが大切であることも確認された。

参加者からは、今後の学習指導にすぐにでも生かすことのできる研修内容であり、ぜひとも実践していきたいという声が聞かれた。



4 成果と課題

第2回国語部研修では、藤村郁也様より教材の特性から子どもたちにどんな力を付けたいかを教師自身ははっきりともつことが大切であることを教えていただいた。また、指導の重点を明確にした授業実践例を紹介していただいた。そして、第3回国語部会では、ご講演でお聞きしたことを生かしながら、自分が所属する学年部ごとに読み取りに関する教材研究研修を行った。第2回の研修をもとに単元の指導計画を作成できたことは、大きな成果であった。